

# 上級救命講習会（学生部主催）

## 後楽園キャンパスにて9月20日に実施しました！

中央大学学生部

### 知っていることが大事

私が上級救命講習会へ参加を決めたのは、講習が気になり始めた頃は夏休みの予定が殆ど無かったし、折角の時間的余裕を使って何かしたかったというだけの理由からです。しかしそもそもこの講習が気になったのは、私の通っていた中学校で生徒が一人、部活動中急に倒れて亡くなったからかも知れません。ずっと心に残っていた、「突然命が失われる場合がある。それは身近に起こり得ることなのだ。」という実感が、私の目を受講者募集の掲示に留めさせたのでしょう。

後楽園キャンパスで9月20日、約七時間かけて心肺蘇生法や止血法、AEDという安全に電気ショックが行える医療機器の使用法などを教わりました。

心肺停止や呼吸停止に陥ると、それから数分間の処置で生存率が大きく変わるため、救急車の到着まで救命の鎖を繋ぐ一般の人の対応は非常に重要なのだと聞いて、気持ちが引き締まりました。実際に傷病者を前にしたらやはり動揺

法学部法律学科2年 木立 結花

するでしょうが、その時は今回の体験が少しの勇氣と冷静さを与えてくれると思います。適切な処置を正確に施す自信はとても持てませんが、一度でも実践したことがある、どうすれば良いのか知っているということは、気持ちの面でも技術的な面でも確かな差を生むと思います。

関東地方は今、いつ大地震が来てもおかしくないと言われていますが、皆さんは地震が来た時のための準備をしていますか？講習の中で講師の方が仰っていたのですが、実際に地震が起きた時、助かった傷病者の内救急隊などに救命されたのはたったの三割で、残りは一般の人に助けられたそうです。たった一日の講習でも、そうした助け合いが必要な場面では大いに役立つと思います。学校に受講費の半分以上を負担して貰えて（私は自己負担千円で済みました）、一定の技能を修得すれば、三年間有効の認定証が交付されるのも魅力です。機会がありましたら、是非受講されることをお勧めします。